

令和3年度の業務運営等への反映状況

令和2年度業務実績評価		令和3年度の業務運営等への反映状況
評価項目	評価結果	
第1-1-(2) グローバル人材 の育成	B	<p>○オンラインを活用し、協定締結校（リンショピン大学（スウェーデン）・台南 応用科技大学（台湾））との交流や、シヴ・ナダール大学（インド）との共同 ワークショップを実施し、グローバルな視点の学術交流機会を創出した。 【海外の大学との交流】R2年度実施見送り ⇒ R3年度3回</p>
第2-1-(1) 研究水準の向上	B	<p>○科研費等獲得のための勉強会を、オンデマンド方式から質疑応答が可能なオ ンライン方式に変更し、教員等の受講意欲を高めるとともに、より効果的な 開催に取り組んだ。 【勉強会参加実績】R2年度 11.9% ⇒ R3年度 27.9% 【科研費申請・採択の実績】 申請：R2年度 16件 ⇒ R3年度 15件 ※数値目標 10件以上 採択：R2年度 1件 ⇒ R3年度 2件 ※ " 3件以上</p>
第3-1-(3) 他大学等との連 携	B	<p>○大学コンソーシアムあきたが主催する高大連携授業を開講し、県内高校生に 対する教育機会の充実を図った。 【開講実績】R2年度 1科目 ⇒ R3年度 8科目 ※数値目標 5科目以上</p> <p>○昨年度は開催を見送った県内国公立4大学連携事業を実施し、公開プレゼン テーション等を通じて、大学の垣根を越えた連携・交流を図った。</p>
第4-1-(1) 海外との交流機 会の拡充	C	<p>○【再掲】 オンラインを活用し、協定締結校（リンショピン大学（スウェーデ ン）・台南応用科技大学（台湾））との交流や、シヴ・ナダール大学（インド） との共同ワークショップを実施し、グローバルな視点の学術交流機会を創出 した。 【海外の大学との交流】R2年度実施見送り ⇒ R3年度3回</p> <p>○留学・国際交流に対する助成金制度において、オンラインによる活動も対象 とし、制度の拡充を図った。 【助成実績】R2年度 2人 ⇒ R3年度 1人 ※数値目標 20人以上</p> <p>○対面とオンラインを併用し、ネイティブスピーカーによる英会話や実践英語 のワークショップを実施した。 【開催実績】R2年度実施見送り ⇒ R3年度 29回</p> <p>○海外講師を招聘するなどの交流プログラムを教員から募集し、その実施経費 を助成する国際交流プログラム支援事業を創設した。 【国内外の移動制限等により実績なし】</p> <p>○令和2年度に引き続き、国内外の移動制限等のため、教員の海外での研究活 動や作品発表等の支援は困難な状況であった。</p>
第6-1-(1) 外部資金等自己 収入の確保	B	<p>○【再掲】 科研費等獲得のための勉強会を、オンデマンド方式から質疑応答が 可能なオンライン方式に変更し、教員等の受講意欲を高めるとともに、より 効果的な開催に取り組んだ。 【勉強会参加実績】R2年度 11.9% ⇒ R3年度 27.9% 【科研費申請・採択の実績】 申請：R2年度 16件 ⇒ R3年度 15件 ※数値目標 10件以上 採択：R2年度 1件 ⇒ R3年度 2件 ※ " 3件以上</p>

令和2年度業務実績評価		内 容
評価項目	評価結果	
第6-3-(1) 施設および知的 財産の有効活用	B	○令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、体育館等の施設の有償貸付を見送った。
第8-4-(1) 人権の尊重	B	○ハラスメント防止に関する教職員および学生を対象とした研修を実施したほか、人権啓発小冊子を学内に配布するなど啓発活動を実施した。 【研修会の開催実績】R2年度2回 ⇒ R3年度2回 ○相談体制の充実のため、ハラスメント事案に精通した弁護士を講師に迎え、相談員・調査員の役割や傾聴の技法をテーマとした研修会を開催したほか、ウェブサイトにはハラスメント相談ページを整備し、学内・学外相談先の情報提供などに努めた。 【研修会の開催実績】R2年度1回 ⇒ R3年度1回